

# カナンの園 2013年度の事業

## 1. 運営方針

2012年度は、カナンの園創立40周年という節目の年を感謝のうちに終えることができました。9月の創立40周年記念カナン祭、11月の創立40周年記念礼拝、2月の創立40周年記念式典を「カナンの園はキリストの愛のもとに、障がい者といわれる人々を中心として、全ての人が互いに尊重しつづつ助け合って生きていく社会の実現を目指す」という理念を確認しながら実施できました。特に記念礼拝で創立の原点と理念を先人たちの姿を通して聴くことができたことは、当時を知らない職員にとって大きな意味を持つものでした。

2013年4月には「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」が施行されました。政治や法制度が流動的な状況が続いているものの、権利擁護、虐待防止などの動きを経ながら、カナンの園が目指す社会に向かっていると捉えています。しかし、現場においては厳しい運営が求められ、各事業所間の連携が更に求められる現実があります。

2013年度は、このような法人の歴史の中で次の次なる40年の第一歩であり、制度の変革期が続く中での1年と位置付けて、以下を運営の重点項目として取り組みます。

## 2. 運営の重点

(1) 組織運営の強化を図るために次の方策を取る。

- ① 事務局専任体制ほか、法人本部機能を強化し組織運営の見直し等を行うと共に、次年度以降に計画している部局制への移行準備を行う。
- ② 理事会と現場とが課題を共有し、対応できる運営を行う。
- ③ チャプレンの働きを充実させる。
- ④ 健康管理体制の充実を図る。
- ⑤ 職員の人材育成と実務技術力の向上。

(2) カナンの園の将来構想の中から、緊急性、優先度の高いものから着手する。

- ① 中山地区、盛岡地区での利用者ニーズ、各事業所の役割を整理し、今後の事業展開や再編成を検討する。
- ② 法人全体の製品販売を総合的に取り扱う部署を設置し、販路拡大や顧客ニーズに応えていく。
- ③ 障がい福祉を基盤とするカナンの園が、地域の産業、教育・研究機関、行政機関、医療機関等との重層的な連携を高め、新たな地域社会を構築していくための手立てを講ずる（産・学・官・医・福の連携）。

### 社会福祉法人カナンの園役員（担当）

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>理事長</b><br/>及川忠人（人事、医療、将来像検討）</p> <p><b>理事長代理</b><br/>中条和哉（人事、礼拝、医療、将来像検討、<br/>となんカナン・三愛学舎担当）</p> <p>本間邦彦（安全管理、シャローム・ウイズ・<br/>支援センター！三愛学舎担当）</p> <p><b>理事</b><br/>佐藤真名（事務局長、人事、将来像検討）<br/>澤谷常清（三愛学舎校長、人事、礼拝、教<br/>育研修、広報、将来像検討）<br/>佐藤研司（小さき群の里・ののさわ施設長、<br/>人事、安全管理、将来像検討）<br/>齊藤芳弘（広報、組織、将来像検討、法人<br/>本部・カナン牧場・支援センター<br/>担当）</p> | <p><b>監事</b><br/>花松行雄<br/>菅野督巳<br/>秋山信愛<br/>中条和哉</p> |
|---|--|

### 2013年度 社会福祉法人カナンの園施設管理者

- |  |  |
|--|--|
| <p>● <b>法人本部</b><br/>事務局長 佐藤真名<br/>事務長 伊藤繁夫</p> <p>● <b>奥中山学園</b><br/>園長 藤村正治<br/>副園長 岡崎俊彦</p> <p>● <b>小さき群の里</b><br/>施設長 佐藤研司<br/>副施設長 中嶋隆</p> <p>● <b>ののさわ</b><br/>施設長 佐藤研司<br/>副施設長 鈴木直人</p> <p>● <b>ヒソプ工房</b><br/>施設長 阿部孝司<br/>副施設長 向井由祈</p> | <p>● <b>カナン牧場</b><br/>施設長 山崎敏夫<br/>副施設長 浅沼俊一<br/>釜石登</p> <p>● <b>シャローム</b><br/>施設長 北村嘉孝<br/>副施設長 戸田清志</p> <p>● <b>ウイズ</b><br/>施設長 薄正仁<br/>副施設長 南館晋也</p> <p>● <b>生活支援センター</b><br/>センター長 山館憲行<br/>副センター長 猪又平</p> <p>● <b>となんカナン</b><br/>施設長 菅生周一<br/>副施設長 高橋正彦</p> |
|--|--|

### 学校法人 カナン学園役員

- |  |
|--|
| <p>理事長 猪苗代正憲<br/>理事 本間邦彦<br/>及川忠人<br/>齊藤芳弘<br/>角谷晋次</p> <p>監事 澤谷常清<br/>栗田良実<br/>花松行雄</p> |
|--|

### 学校法人カナン学園

- |   |
|---|
| <p>● <b>三愛学舎</b><br/>校長 澤谷常清<br/>副校長 伊藤和彦</p> <p>チャプレン 中条和哉</p> |
|---|

# 社会福祉法人カナンの園 2012年度 決算報告 （単位：円）

## 1. 社会福祉事業会計

法人本部、奥中山学園、放課後デイサービスゆいまある、小さき群の里、ののさわ、ケアホームHANA事業所、同美空事業所、居宅介護事業れもん事業所等の各経理区分を合算したものです。

貸借対照表			
2013年3月31日現在			
資産の部		負債の部	
流動資産（注：①）	246,720,397	流動負債	28,914,403
固定資産（注：②）	822,658,530	固定負債	37,417,825
		負債の部合計	66,332,228
		純資産の部	
		基本金	398,317,416
		国庫補助金等特別積立金	204,596,146
		その他の積立金	186,489,538
		次期繰越活動収支差額	213,643,599
		（内、当期活動収支差額）	70,967,104
		純資産の部合計	1,003,046,699
資産の部合計	1,069,378,927	負債・純資産合計	1,069,378,927

事業活動収支計算書	
(2012年4月1日～2013年3月31日)	
事業活動収支の部	
収入（注：③）	645,276,569
支出	552,671,471
収支差額	92,605,098
事業活動外収支の部	
収入	47,719,562
支出	69,357,555
収支差額	-21,637,993
特別収支の部	
収入	0
支出	1
収支差額	-1
当期活動収支差額	70,967,104
前期繰越活動収支差額	199,176,495
当期末繰越活動収支差額	270,143,599
基本金・その他の積立金取崩額	15,000,000
基本金・その他の積立金積立額	71,500,000
次期繰越活動収支差額	213,643,599

注：

①流動資産額の内訳の内、現金預金は12経理区分138,380千円、未収入金は自立支援給付2・3月分104,513千円及び利用料等になります。

②固定資産額の内訳の内、基本財産は、土地72,453千円、建物480,454千円。その他の固定資産として退職共済預け金19,918千円、積立金186,490千円等です。

③事業活動収入の内、寄付金収入は11,823千円（前年比-803千円）内訳（ア）施設利用者指定寄付1,245千円、（イ）法人活動の為の寄付金6,895千円（ウ）施設指定寄付金は3,462千円

## 2. 就労支援事業会計

ヒソブ工房、シャローム、ウィズ、カナン牧場、となんカナンの各経理区分を合算したものです。

貸借対照表			
2013年3月31日現在			
資産の部		負債の部	
流動資産（注：①）	236,580,745	流動負債	15,850,835
固定資産（注：②）	541,867,998	固定負債	42,403,475
		負債の部合計	58,254,310
		純資産の部	
		基本金	113,658,408
		国庫補助金等特別積立金	251,773,454
		その他の積立金	45,400,000
		次期繰越活動収支差額	309,362,571
		（内、当期活動収支差額）	25,919,435
		純資産の部合計	720,194,433
資産の部合計	778,448,743	負債・純資産合計	778,448,743

事業活動収支計算書	
(2012年4月1日～2013年3月31日)	
就労支援事業活動収支の部	
収入（注：③）	191,344,627
支出	199,835,282
収支差額	-8,490,655
福祉事業活動収支の部	
収入	323,079,369
支出	309,731,890
収支差額	13,347,479
事業活動外収支の部	
収入	25,179,268
支出	4,004,456
収支差額	21,174,812
特別収支の部	
収入	2,939,999
支出	3,052,200
収支差額	-112,201
当期活動収支差額	25,919,435
前期繰越活動収支差額	288,543,136
当期末繰越活動収支差額	314,462,571
その他積立金取崩額	5,100,000
次期繰越活動収支差額	309,362,571

注：

①流動資産額の内訳の内、現金預金は158,962千円、未収入金は自立支援給付2・3月分及び利用料48,693千円、売掛金18,625千円、他は原材料等です。

②固定資産額の内訳の内、基本財産（建物）は393,436千円、退職共済預け金13,803千円、積立金45,400千円等です。

③就労支援事業収支差額では、ヒソブ工房が539千円、シャローム18千円、ウィズが1,604千円、カナン牧場が-10,825千円、となんカナンが175千円です。